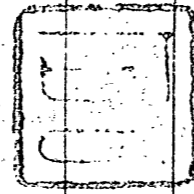


太一三三二  
年七月  
五月廿七  
日



樞密院議長正三位勳等子爵清浦奎吾

任内閣總理大臣

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

依願免本官

右

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス



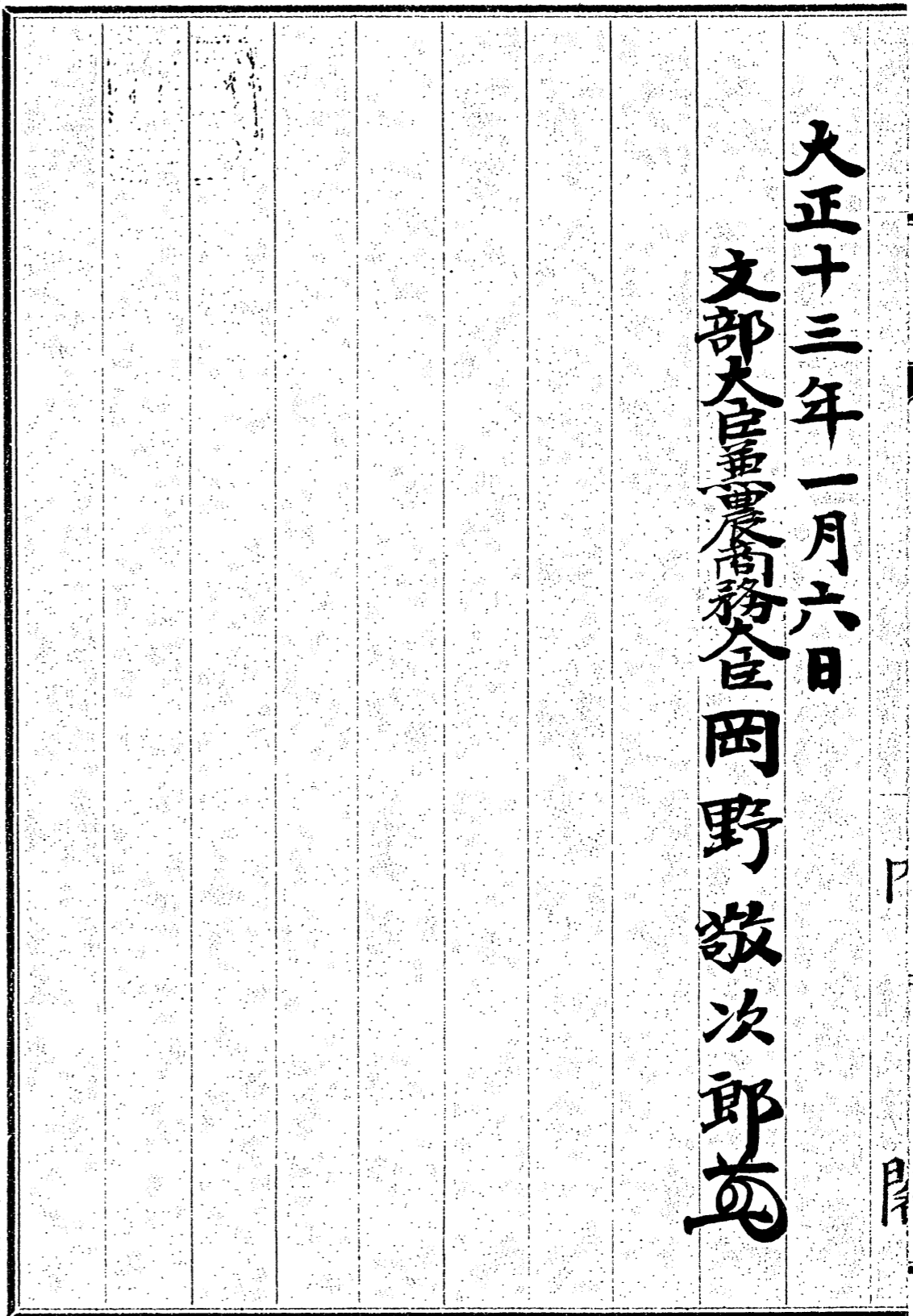
内閣總理大臣


(當才勝)

内閣總理大臣

大正十三年一月六日

文部大臣兼農務大臣岡野敬次郎宛



今テ因ノ事變ニ當リ臣權兵衛惶懼  
伏シテ辭表ヲ上リシ處

天恩厚大辱シモ

優者ヲ下シ給フ臣權兵衛感激恐悚

ノ至ニ堪ヘス竊ニ惟ルニ此事タル至重

至大 臣權兵衛施政統督ノ任ニ在リ

其ノ責最モ大到底任ニ留ルニ由ナシ

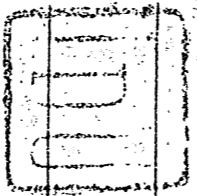
仰キ願クハ臣ノ苦衷ヲ照鑑シ給ハム

コトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ謹テ再ヒ辭表

ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛



任内務大臣

正三位勲一等水野鍊太郎

任大藏大臣

正四位勲一等勝田主計

任陸軍大臣

陸軍次官陸軍中將菅原武敏等以級字垣一成

大正十二年十二月二十九日  
内閣總理大臣



一月七日